

2023 年 6 月 23 日

全社員の意思決定のスピードアップ、イノベーションの創出

「週 3 日以上の出社」を原則化

お客様とのエンゲージメント強化、クリエイティブな発想促進を視野に

パナソニック コネクト株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役 執行役員 プレジデント・CEO:樋口 泰行)は、2023 年 7 月 1 日より週 3 日以上の出社を原則化*します。働く「現場」のリアルなコミュニケーションにより、意思決定のスピードアップ、イノベーション創出、お客様とのエンゲージメント強化、クリエイティブな発想促進を図ることが目的です。

当社はこれまで、本社移転、オフィスのフリーアドレス化、服装のカジュアル化、IT 強化、ハラスメントの厳罰化、AI の国内全従業員への利用開放など、他社に先駆け多くのチャレンジを行ってまいりました。こういったアジャイルな考え方が浸透し、新型感染症の流行以前より、ITをフル活用した勤務形態をいち早く推進しており、コロナ禍になっても生産性を落とすことなく、ビジネスを継続させてきました。そして、この度、5 月 8 日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが 5 類に移行したことを受け、7 月 1 日よりパナソニック コネクトグループ国内従業員 13,400 名を対象に「週に 3 日以上の出社」を原則化することにしました。

当社の CEO 樋口 泰行は、次のように述べています。「人がダイレクトにコミュニケーションできることに代わるものはないと考えています。企業の競争力強化のためには職場でのフェイストウフェイスのコミュニケーションを通じて得られる組織としてのスピード、イノベーション力、お客様へのエンゲージメント、クリエイティブな発想、そして強固なチームワークが極めて重要です。当社はコロナによる影響を受けたビジネスが、現在、好転し、勢いを増している状況にあります。この機を逃さず、ビジネスをさらに加速していくためにもリアルでのコミュニケーションを意識的に増やしていくことは必要不可欠だと考えています」

パナソニック コネクトは引き続き、ビジネスの強化を通じてお客様の価値向上に務め、さらにはパーパス経営を実践していくことで、「ウェルビーイング」の実現を目指してまいります。

* 従業員個々の事情がある場合、既存の勤務施策を適用し適切な働き方を選択することは可能

【パナソニック コネクト株式会社について】

パナソニック コネクト株式会社は 2022 年 4 月 1 日、パナソニックグループの事業会社制

への移行に伴い発足した、B2B ソリューションの中核を担う事業会社です。グローバルで約 29,500 名の従業員を擁し、売上高は 1 兆 1,257 億円※を計上しています。「現場から社会を動か し 未来へつなぐ」をパーパス(企業としての存在意義)として掲げ、製造業 100 年の知見とソフトウェアを組み合わせたソリューションや高度に差別化されたハードウェアの提供を通じて、サプライチェーン、公共サービス、生活インフラ、エンターテインメント分野のお客様をつなぎ、「現場」をイノベートすることに取り組んでいます。また、人と自然が共存できる豊かな社会・地球の「サステナビリティ」と、一人ひとりが生きがいを感じ、安心安全で幸せに暮らすことができる「ウェルビーイング」の実現を目指しています。

※2022 年度売上高

以上